

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 2

平成24年12月12日発行

東京都杉並区梅里 1-22-32[社会教育センター内]TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.14

得意技をひろげ、つながろう

12月3日
昼コース

和のコミュニティ活動をつくりあげましょう



秋～この時期は、区内外でいろいろなイベントが多く行われる時期である。受講生の中でも、イベントでバルーンアートを通して障害者とふれあい、かわり方を学んだ方や以前から行っている朗読会に受講生の仲間を招いたりしていたようだ。この大人塾受講生でのつながりが地域活動にぼろぼろと結びついているようだ！

さて、今回もそれぞれのグループがゆるやかにつながりながらの活動を行った。前回グループ内で練習したりんごサンタを今回は本番という形でやりたい人を募って行ったのだが、今回は学習支援者の松田さんが山形から持って来てくださったりんごを使うことに、甘い良い香りを嗅ぎながらつくっていったところ、あれっ、あっという間にできちゃった。そこで受講生の大岸さんや安野さんたちが気付いたのが、「作るの簡単。けれども、下準備が大変」ということ。実は、りんごサンタを教えてくれた受講生の山本さんの隠れた工夫がなされていたわけだ！

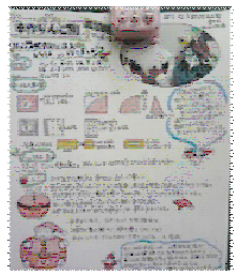
自分店を開いたときを思い出すと分かるが、どうしてもお店をやっている時間よりも準備の時間の方が長くなる。けれども、そんな準備もみんな話しながらだと、楽しくてあっという間だったことが思い出される。

今回のゼミ活動での準備も、みんなでわいわいおしゃべりしながら、手も口も一緒に動かして準備をするのも面白いかも。

このゼミ活動はそんな井戸端会議のような「和のコミュニティ活動」が、いろんな形で生まれてきているのではないだろうか。(坂本)



折り紙のクリスマスリースやツリー



すてきなりんごサンタ作り方説明書



コミュニティカフェ開催に向けて話し合い



セッションのロビーに手作りのクリスマス飾りが！

ものと得意技の交換

今回制作したりんごサンタ(右写真)のために、松田さんが持ってこられたりんごは、「桃色ウサビ」君が案内してくれる山形県朝日町のもの。

せっかくできたこのご縁。受講生の中からは、「この朝日町で出張りんごサンタ講座を開きたい」という声も出ている。『りんご』を介して、他地域とつながった瞬間かも！



ゼミ活動の軌跡②

きょうりゅう倶楽部



コミュニティカフェをつくる！

- ・細田工務店へ伺い、話をしてきた
- ・年度内の開催は難しそう
- ・今のところ好印象
- ・次回は、どんな人がいると楽しいか考える

だがしや染校 物語



ニコニコロード商店街を紹介！

- ・ニコニコロード商店街のお店の取材を行った
- ・今回はわづくりの会とりんごサンタをつくる
- ・午後から残りの取材先へ

わづくりの会

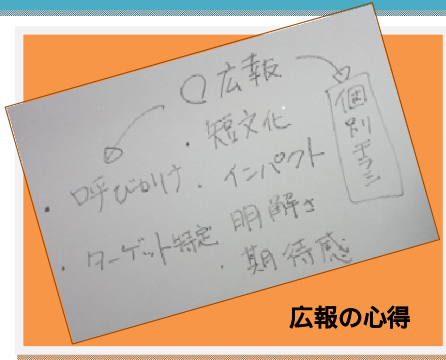


得意技を広める！

- ・山形のりんごでサンタをつくる
- ・完成したりんごサンタを山形に送ったり、山形へ出張して一緒につくりにいったり(といったアイディアが生まれる)

11月28日
夜コース

ワークショップ開催に向けてダッシュ！ 広報作成：プログラムの内容を魅力的に表現しよう



広報の心得

まず課題を共有

チームが決まった今回は、各チームがプログラムの内容を考えながら、広報原稿を考えるのが終着点。その前に5チームに、目的や現段階の課題、進捗状況、これからの予定などを発表してもらった。特に課題はどのチームも同じ。まずは集客。これはこれから魅力的な広報や集客方法を考えていくことだ。次は仲間同士のスケジュール調整。実施までの日程が少ない+年末も重なり、焦る気持ちも生まれているよう。頑張ってください！さらに目的の共有がうまくできているか？も不安要素。でもこれはとても大切である。常にチーム内で確認をとることでワークショップの進行がぶれない。

広報のポイント

広報を作る際に気をつけるポイントがいくつかある。まずは、「ターゲットを決めること」。あ、私のことだ！と思わせ、期待感をもってもらうのが重要。さらに、「インパクトのあるキーワード」をいれること。明快な言葉は、文章としてでなく、視覚的にはいってくるからだ。そんな事に注意しながら、ワークショップの内容と題名を決めていった。



そして決まったのが、下記の内容。まだ暫定的ではあるが、ワークショップの内容がほぼ固まった。プログラムでは、「みんなで考える機会をどうやっておりこむか？」を忘れずに、これからタイムスケジュールなど、細かい内容を作りこんでいこう！（湊）

チクチクお針子男子

決まった！ワークショップの題名第一弾

ワークショップ名	目的	チーム名
にぎやかな沈黙	自分の中の人に伝える力、受け取る力を再確認	感性チーム
viva！ミドルエイジ 同世代で語ろう！	地元で友達を作り、繋がりづくりをする	ご近所コミュニケーションチーム
男の手仕事・ホワイトデーにお返しをしよう	男の家庭科・物を大切にする精神も	針ポッターと賢者の糸子チーム
シニアボイス・昭和を語ろう、残そう！	高齢者の声や想いでを文章で記録する第一歩	高齢者の記録チーム
蕎麦を食べながら、杉並の農と食を考えよう	農地の役割、必要性に気づく。杉並ブランドの提案	杉並の農と食を考えるチーム

今月の大人“^{じゅく}塾^と人”

大人塾に参加中の...イカした！大人たちに聞きました！
出身 座右の銘、好きな言葉 自分のつながりPR

窪田 耕治 (くぼくぼ)

中野区
物語屋をよろしく
ホットケーキかと思ったら、ホットクだった。大体合っている。そのくらい大雑把。

田辺 千鶴栄

東京都
人との出会いが財産
好奇心と行動力



□すぎなみ大人“塾”してる？の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。